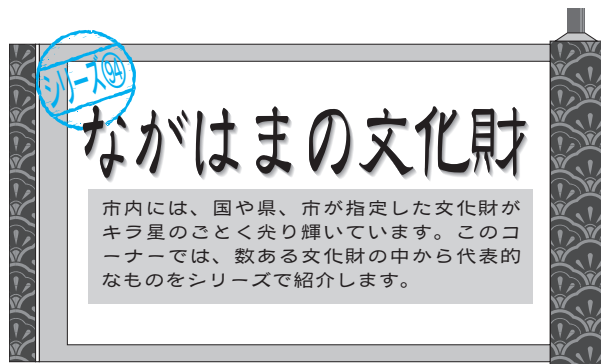




▲聖観音立像



市指定文化財 木造聖観音立像 (長浜市蔵)

指定日：平成14年7月1日

所在地：長浜城歴史博物館(公園町)

北門前観音堂(宮前町)に伝わった聖観音立像です。像高97・8cmの三尺像で、砲弾のように隆起した髻を結び、山形の宝冠を戴きます。右手は下げて掌を正面に向け、左手は胸前で未敷蓮華を握っています。たすき掛けにまとう条帛、両肩から懸ける天衣、巻きスカート状の裳、その上から覆う腰布を着けて、腰を大きく左にひねり、右膝を曲げて足裏の角柄で台座上に立っています。

ヒノキと思われる針葉樹材による一木造で、頭部から右腕は手首まで、左腕は肘先までを含んで、膝下までを一材から彫り出しています。一木造は平安時代から流行しはじめる古様な技法ですが、像内をくり貫く内刳を施していない

ため、見た目以上の重量があります。いずれかの時代に損傷を受けたのか、脛から下を大きく根継ぎしています。

四角張ったふくよかな顔立ちに、三日月状の伏し目や鐙の立った眉、やや太めの鼻筋、小さく結んだ唇を顔の中央に寄せることによって穏やかで静かな表情を見せます。太く厚みのある耳の上に髪の一部を渡して後ろに流します。奥行のある身体は胸や腹のくびれを明快に表し、衣文線(衣の襞は深く彫り込む部分と平滑に表す部分を彫り分けています。特に膝下の翻波式衣文は印象的で、等間隔の大きい波と小さい波を左右対称に整然と表しています。これらの特色から、平安時代中期(10世紀末)11世紀初頭の作と考えられます。

像背面の腰部に記された朱書銘によれば、本像は江戸時代の正徳元年(1711)に妙覚院の住職宣亮によって修理され、長濱八幡宮の神宮寺である新放生寺の別院・妙覚院に伝わったことが知られます。



▲背面の朱書銘

北門前観音堂は、長濱八幡宮の一の鳥居から道路を挟んですぐ西側の一角にありました。平成6年に『長浜市史』の調査で偶然立ち寄った際に発見され、まちなかの集会所から平安時代中期の仏像が現れたことに湖北地域の奥深さを実感したものでした。

観音堂は無住のため、明治以降は「北門前観音講」がこの観音像を維持・管理してきました。しかし12軒あった講員は平成14年に2軒のみとなり、維持が難しくなりました。ことから市に寄贈されることになりました。神仏習合を背景に伝えられ、地域の人びとによって守られてきた本像は現在、長浜城歴史博物館で大切に保管しています。

岡長浜城歴史博物館

(☎6314611)

「わくわくおはなしフェスタ」を開催します

☎生涯学習文化課(☎65-6552)

パネルシアターや手遊び、読み聞かせでおはなしの世界が広がります。いっしょにおはなしの世界を楽しみませんか。

【と き】 3月2日(土)

【ところ】 市民交流センター(地福寺町)

【内 容】 下記のとおり

【入場料】 一般 200円、小学生以下 無料

【定 員】 各部150人(先着順)

【申込み】 受付開始 2月4日(月)～

①氏名(お子さんは年齢も)②電話番号③「1部のみ」・「2部のみ」・「1部2部ともに参加」を、電話、FAXまたはメールで右記までお申し込みください。

※託児なし。オムツ交換・授乳スペース有り。
※大人だけの参加も可能。2部は大人向けの内容ですが、お子さんも参加できます。

問合せ・申込先

長浜市ことばを大切にするまちづくり推進協議会事務局

生涯学習文化課内〈本庁舎3階〉

☎65-6552 FAX 65-6571

✉ syoubun@city.nagahama.lg.jp

	時 間	内 容
第1部 (親子向け)	10時30分～12時 (開場 10時～)	○「子どもも大人も楽しいおはなし会」 藤田 浩子 氏(おはなしおばさん) ○「ひなまつり(パネルシアター公演)」他 長浜パネルシアターの会(市内団体) ○「どうぞのいす(プロジェクターでの上映)」 朗読びわ(市内団体)
第2部 (大人向け)	13時～15時	○「大人のためのおはなし会、ワークショップ」 藤田 浩子 氏(おはなしおばさん) 保育所、幼稚園、小学校、図書館、自宅などでお子さんと楽しく話したり、遊んだりできるようになる内容です。(小道具、手遊び、わらべうたなどの紹介と実演等)



地域の中でボランティア精神を育てよう



▲地産地消炊き出し事業「夢プロごはん」

北中学区は、市街地、農村部、住宅地が混在し、近年は大型商業施設も増えてきました。そんな中、歴史と伝統を誇りとし、地域の子どもたちを大切に育てようという想いがあふれています。

北中学校には、「夢プロジェクト委員会」という学校を支援する組織があります。ここでは、「地域

の子どもは地域で育てる」を方針に、地域の大人たちがボランティアで活動をしています。

その最大の活動は「夢プロごはん」です。地産地消炊き出し事業で、地元JAの協力も得て、地域でとれた炊きたての新米を給食の時間に振る舞います。50人ほどの人々が駆けつける一大イベントです。今年度で9回目を迎えました。生徒たちも毎年楽しみにしていて、器いっぱいのごはんをべろりと平らげます。このごはんを食べた子どもたちが、今度はこの事業に参加してくれることを夢見ています。

また、北中は生徒のボランティア活動も盛んです。学期に一度行われる校舎を磨く「ピカピカ

めざす子ども像

- 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 一、思いやりのある心のやさしい子
- 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

長浜子どもちのちかい

～わたしたちはちかいます～

- 一、元気にあいさつをします
- 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 一、困っている人がいたら言葉をかけます
- 一、人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章

～おとなが実践します～

- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 一、長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます



▲「ピカピカ隊」花壇整備活動

これからも地域のことで、地域と共に歩んでいける北中学校でありたいと思います。